

公益社団法人 日本表面真空学会

2023年 関西支部総会

日時： 令和5年(2023年) 4月4日（火） 14:30-15:30

場所： 大阪公立大学 I-siteなんば

Zoom meetingによるオンライン会議

議事

1. 開会の辞 （2022 年度支部長 白藤 立）
2. 総会定足確認
3. 議長選出
4. 議題
 - 第一号議案 2022 年度 事業報告承認 に関する件 （資料 1）
 - 第二号議案 2022 年度 決算承認 に関する件 （資料 2）
 - 第三号議案 2023 年度 支部役員選任 に関する件 （資料 3）
5. 報告事項
 - 1) 2023 年度 事業計画 に関する件 （資料 4）
 - 2) 2023 年度 予算 に関する件 （資料 5）
 - 3) 関西支部 周年記念事業 に関する件 （資料 6）
6. 閉会の辞 （2023 年度支部長）

資料 1： 2022 年度事業報告書（案）

資料 2： 2022 年度収支決算（案）

資料 3： 2023 年度支部役員（案）

資料 4： 2023 年度事業計画書

資料 5： 2023 年度予算書

資料 6： 周年記念事業計画書

関西支部会員数

正会員（令和 5 年 4 月 1 日時点） 362 名 定足数 19 名

（参考：公益社団法人日本表面真空学会関西支部規程より抜粋）

第 18 条 支部総会の議決は議決権を有する支部正会員の 20 分の 1 以上が出席し、出席した支部正会員の過半数をもって行う。ただし、委任状を認め、委任状提出者は出席正会員と認める。賛否同数のときは、議長の議決するところとする。

日本表面真空学会関西支部 2022 年度事業報告書（案）

1 役員会

第 1 回役員会（新旧合同）

開催日： 2022 年 4 月 22 日（金）

場 所： Microsoft Teams によるオンライン会議

議 題： 本部理事会報告，本部教育・育成委員会報告，支部主催行事開催報告，支部協賛行事報告，
支部主催行事企画案審議，総会議案審議，支部内遊休資産への対応に関する議論

出席者： 35 名（内，委任 6 名）

第 2 回役員会

開催日： 2022 年 7 月 13 日（水）

場 所： Microsoft Teams によるオンライン会議

議 題： 本部理事会報告，本部教育・育成委員会報告，支部総会開催報告，支部協賛行事報告，
支部主催行事企画案審議，支部内遊休資産への対応に関する議論

出席者： 33 名（内，委任 5 名）

第 3 回役員会

開催日： 2022 年 12 月 21 日（水）

場 所： Microsoft Teams によるオンライン会議

議 題： 本部理事会報告，本部教育・育成委員会報告，支部主催行事開催報告，支部協賛行事報告，
支部主催行事企画案審議，遊休資産対応案審議，次年度支部役員体制についてのアナウンス

出席者： 32 名（内，委任 5 名）

2 関西支部総会

開催日： 2022 年 4 月 22 日（金）15:45～16:30

場 所： Microsoft Teams によるオンライン開催

議 題： 2021 度事業報告の承認，2021 年度決算の承認，2022 年度支部役員の選任，
関西支部規定改訂の承認，2022 年度事業計画書の報告，2022 年度予算書の報告

会員数： 369 名（2022 年 4 月 14 日現在）

定足数： 19 名

参加者： 100 名（内、委任状による議決権行使 71 名）

3 研究会，セミナー等

第 14 回 役に立つ真空技術入門講座

開催日： 2022 年 8 月 31 日（水），9 月 1 日（木）

場 所： Zoom によるオンライン開催

参加者： 32 名

講義題目：

<1 日目> 8 月 31 日（水）

真空の概念Ⅰ、真空の概念Ⅱ（京都大学 後藤 康仁 先生）

真空系の構成（神港精機株式会社 加々見 丈二 先生）

真空ポンプ（株式会社大阪真空機器製作所 奎尾 互一 先生）

真空の取り扱い、真空部品の保守（京都大学 中嶋 薫 先生）

<2 日目> 9 月 1 日（木）

真空計測（大阪電気通信大学 安江 常夫 先生）

真空装置のトラブル事例と対策（近畿大学 西川 博昭 先生）

低・中真空の産業応用（大阪産業技術研究所 寛 芳治 先生）

中・高真空：機能性薄膜作製の基礎と応用（京都大学 鈴木 基史 先生）

超高真空：分子線エピタキシー技術の基礎（大阪大学 長谷川 繁彦 先生）

2022 年度（第 23 回） 関西支部市民講座

主 題： 地球表面を診断！雷・オーロラ観測と超小型衛星がひらく未来社会

開催日： 2022 年 8 月 27 日（土）

場 所： Zoom によるオンライン開催

参加者： 49 名

題 目： 地球表面と宇宙の間に起きていること（北海道大学 高橋 幸弘 先生）

秋季合同講演会 （日本真空工業会関西支部との合同開催）

開催日： 2022 年 9 月 8 日（木）

場 所： アートホテル大阪ベイタワー22 階 スカイバンケットイースト
とオンラインのハイブリッド開催

参加者： 61 名

講演題目：

1. 3 次元ナノ構造化学研究とダイバーシティ・インクルージョン

～人財と視点の転換が広げる真空技術の可能性～ （大阪大学 服部 梓 先生）

2. 黒鉛の剥離技術の開発と用途開拓 （岡山大学 仁科 勇太 先生）

実用表面分析セミナー2022

開催日： 2022 年 11 月 17 日（木）

場 所： 神戸大学 百年記念館 六甲ホール

参加者： 110 名

一般講演：

1. 9.25keV 液体 Ga 線源を用いた実験室系硬 X 線光電子分光装置のご紹介
(シエンタ オミクロン株式会社 町田 雅武 様)
2. 最新のフルオート多機能走査型 XPS の紹介 (アルバック・ファイ株式会社 井上 りさよ 様)
3. BackSide SIMS の紹介と硬質材料への適用 (東芝ナノアナリシス株式会社 千代村 真 様)
4. 高 S/N、高歩留まり、高領域分析を達成した最新型 3 次元アトムプローブ装置 6000 シリーズの紹介
(アメテック株式会社 石川 真起志 様)
5. 顕微ラマンマッピングを用いた動的評価 (株式会社日東分析センター 長谷川 加奈 様)
6. ここまでできる！レーザーラマン顕微鏡を用いた最表面ラマンイメージング
(ナノフォトン株式会社 足立 真理子 様)
7. 顕微ラマンを用いた分析事例の紹介 (株式会社カネカテクノリサーチ 吉田 雅志 様)
8. GD-OES を用いた分析事例の紹介 (株式会社堀場テクノサービス 西村 智椰 様)
9. AFM を用いた最新評価事例 (株式会社島津テクノリサーチ 森口 志穂 様)
10. AFM/CSI/SEM の最新技術から相関解析ソリューションへの展開
(株式会社日立ハイテク 栃本 貴志 様)
11. ナノインデントを用いた薄膜・コーティング膜表面の特性評価
(株式会社住化分析センター 小國 祐美子 様)

ポスターセッション・展示： 上記企業に加え、日本電子株式会社

特別講演： 半導体光触媒のオペランド界面計測：

ダイヤモンドプリズムを用いた光学分光と溶存酸素の高速検出
(神戸大学 大西 洋 先生)

表面科学技術研究会 2023 （表面技術協会関西支部との合同開催）

主 題： 表面ぬれ制御技術の最先端 – 表面修飾・バイオミメティクス・センシング技術 –

開催日： 2023 年 1 月 24 日（火）

場 所： 大阪産業技術研究所 森ノ宮センター

参加者： 69 名

講演題目：

1. [基調講演] 撥水性固体表面での水滴の挙動 (東京工業大学 中島 章 先生)
2. 生物を模倣したタフな超撥水材料の開発 (物質・材料研究機構 内藤 昌信 先生)
3. 自然に学ぶ環境負荷を低減する住宅用セラミックス (株式会社 LIXIL 井須 紀文 先生)
4. 湿潤を測り分けるセンサとその表面の濡れ性制御 (物質・材料研究機構 川喜多 仁 先生)

令和4年度日本表面真空学会関西支部収支決算案					
1. 通常会計の部					
収入					
1) 前年度繰越金	4,951,849	円		4,951,849	円
2) 本部交付金	-	円		-	円
3) 本部補助金	-	円		-	円
4) 参加費等(事業収益)	1,096,565	円	内訳		
			特別講演会懇親会参加費	-	円
			真空技術入門講座参加費等	377,500	円
			実用表面分析セミナーテキスト販売	77,000	円
			実用表面分析セミナー企業協賛金	580,000	円
			表面科学技術研究会収益等	62,065	円
6) 雑収入	48	円	内訳		
			預金利息	48	円
合計	6,048,462	円		6,048,462	円
支出					
1) 特別講演会(総会後)	-	円		-	円
2) セミナー・研究会費	1,084,061	円	内訳		
			真空技術入門講座	281,696	円
			実用表面分析セミナー	417,271	円
			表面科学技術研究会	169,033	円
			秋季合同講演会	41,290	円
			市民講座	174,771	円
3) 雇用賃金	58,800	円		58,800	円
4) 旅費交通費	-	円		-	円
5) 通信費	7,656	円		7,656	円
6) 会務運営費	15,180	円		15,180	円
10) 予備費	4,882,765	円		4,882,765	円
合計	6,048,462	円		6,048,462	円

第二号議案 2022 年度決算の承認に関する件（資料 2）

2022年4月1日～2023年3月31日							
		法人会計	公益目的事業会計				
	合 計	支部委員会・総会等	第23回 市民講座	第14回役に 立つ真空技 術入門講座	秋季合同 講演会	実用表面分析 セミナー2022 (第23回)	表面科学 技術研究 会2023
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
事業収益	1096565	0	0	377500	0	657000	62065
受取参加費	439565	0	0	377500	0	0	62065
受取広告料	0	0	0	0	0	0	0
受取ブース出展料(企業協賛金)	580000	0	0	0	0	580000	0
受取出版物頒布(テキスト販売)	77000	0	0	0	0	77000	0
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	48	48	0	0	0	0	0
受取利息	48	48	0	0	0	0	0
経常収益計	1096613	48	0	377500	0	657000	62065
(2) 経常費用							
事業費	1165697	81636	174771	281696	41290	417271	169033
臨時雇賃金(雇用賃金)	67800	58800	0	0	0	9000	0
旅費交通費	134290	0	0	0	10720	20080	103490
通信運搬費	9201	6406	1199	0	0	1344	252
消耗品費	12735	0	0	0	0	12735	0
印刷製本費	430536	0	112636	126500	0	191400	0
諸謝金	168168	0	22274	101346	0	11137	33411
委託費	0	0	0	0	0	0	0
会場費	73602	0	7602	0	0	66000	0
支払手数料	12850	1630	1360	4350	870	2460	2180
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0
雑費	256515	14800	29700	49500	29700	103115	29700
経常費用計	1165697	81636	174771	281696	41290	417271	169033
当期増減額	-69084	-81588	-174771	95804	-41290	239729	-106968
期首残高	4951849						
期末残高	4882765						

日本表面真空学会関西支部令和4年度会計 事業別収支		会計幹事 野内 亮	
	収入	支出	収支
前年度繰越金	4,951,849		4,951,849
役に立つ真空技術入門講座 参加費等	377,500	281,696	95,804
実用表面分析セミナー テキスト販売 企業協賛金	77,000 580,000	417,271	239,729
表面科学技術研究会 収益等	62,065	169,033	-106,968
秋季合同講演会 参加費	-	41,290	-41,290
市民講座 本部補助金	-	174,771	-174,771
雇用賃金 旅費交通費 通信費 会務運営費 本部交付金 預金利息	- - - - - 48	58,800 - 7,656 15,180	-81,588
予備費		4,882,765	-4,882,765
合計	6,048,462	6,048,462	0

令和4年度日本表面真空学会関西支部決算報告書

1. 通常会計の部

収入	
前年度繰越金	4,951,849 円
本部交付金	0 円
講演会等参加料(テキスト販売等を含む)	516,565 円
本部補助金(市民講座)	0 円
企業協賛金	580,000 円
預金利息	48 円
合 計	6,048,462 円
支出	
特別講演会費	0 円
セミナー・研究会費等	1,084,061 円
雇用賃金	58,800 円
旅費交通費	0 円
通 信 費	6,406 円
消耗品費	0 円
印刷製本費	0 円
会場費	0 円
支払手数料	1,630 円
雑費	14,800 円
合 計	1,165,697 円

4,882,765 円は予備費として次年度へ繰り越すものとする。

2022年 3月 24日

以上の通り、令和4年度関西支部決算報告をいたします。

関西支部会計幹事 野内 亮 (大阪公立大学)

関西支部支部長 白藤 立 (大阪公立大学)

以上の収支について監査を行い、適正であることを認めます。

関西支部監査役 鈴木 基史 (京都大学)

公益社団法人 日本表面真空学会 関西支部 令和 5 年度役員（案）

支部長 本多 信一（兵庫県立大学）
副支部長 中村 芳明（大阪大学），横溝 臣智（コベルコ科研）

幹事

伊賀 敏治（大阪真空機器製作所）	成瀬 延康（滋賀医科大学）
伊巻 亮太（日鉄テクノロジー）	西川 博昭（近畿大学）
占部 継一郎（京都大学）	野内 亮（大阪公立大学）
大河内 拓雄（高輝度光科学研究センター）	平出 雅人（島津製作所）
奥田 太一（広島大学）	廣瀬 潤（堀場製作所）
川畑 直之（三菱電機）	福井 賢一（大阪大学）
川山 巖（京都大学）	福田 常男（大阪公立大学）
河本 ゆう子（大阪公立大学）	藤井 俊治郎（兵庫県立大学）
齊藤 彰（大阪大学）	藤居 義和（神戸大学）
坂口 浩一郎（岡山県立大学）	藤金 正樹（パナソニック）
澤田 大輔（カネカテクノリサーチ）	部家 彰（兵庫県立大学）
渋谷 昌弘（大阪公立大学）	堀内 悠（大阪公立大学）
末広 省吾（住化分析センター）	湊 淳一（日本板硝子）
須田 泰市（東レリサーチセンター）	山田 亮（大阪大学）
滝沢 優（立命館大学）	吉越 章隆（日本原子力研究開発機構）
堂井 真（リガク）	
中嶋 薫（京都大学）	
長塚 直樹（京都大学）	

監査 白藤 立（大阪公立大学）

以上 37 名

令和 4 年度 日本表面真空学会 関西支部 事業計画書

- ・役員会 年間 3 ～4 回のオンライン開催を予定
- ・事業 支部総会, 講演会, 研究会等の計画と開催

(1) 支部総会

開催日: 2023 年 4 月 4 日 (火)
開催場所: 大阪公立大学 I-site なんば + オンライン

(2) 支部特別講演会

開催日: 2023 年 4 月 4 日 (火)
開催場所: 大阪公立大学 I-site なんば + オンライン
題目: 窒化物半導体を用いた発光シンセサイザー開発の現状と展望
講演者: 京都大学 川上 養一 先生

(3) 第 15 回 役に立つ真空技術入門講座

開催予定日: 2023 年 8 ～9 月の開催を計画中
開催場所: 未定

(4) 第 24 回 市民講座

開催予定日: 2023 年 8 月の開催を計画中
開催場所: 対面とオンラインのハイブリッド形式での開催を予定

(5) 秋季合同講演会 (日本真空工業会 関西支部との合同開催)

開催予定日: 2023 年 9 月 6 日 (水) で計画中
開催場所: アートホテル大阪ベイタワー 22 階 (予定)

(6) 実用表面分析セミナー2023

開催予定日: 2023 年 11 月下旬の開催を計画中
開催場所: 神戸大学 百年記念館六甲ホール

(7) 表面科学技術研究会 2024 (表面技術協会 関西支部との合同開催)

開催予定日: 2024 年 1 月中旬～下旬 (日時未定)
開催場所: 大阪産業技術研究所 森之宮センターでの対面開催を予定

令和5年度日本表面真空学会関西支部予算(案)					
1. 通常会計の部					
収入					
1)	前年度繰越金	4,882,765 円		4,882,765 円	
2)	参加費等	1,795,000 円	内訳		
			役に立つ真空技術入門講座	880,000 円	
			秋季合同講演会	30,000 円	
			実用表面分析セミナー企業協賛金	800,000 円	
			実用表面分析セミナーテキスト販売	50,000 円	
			表面科学技術研究会テキスト販売	35,000 円	
	合計	6,677,765 円		6,677,765 円	
支出					
1)	セミナー・研究会費	1,560,000 円	内訳		
			役に立つ真空技術入門講座	450,000 円	
			秋季合同講演会	70,000 円	
			市民講座(第24回)	240,000 円	
			実用表面分析セミナー2023	700,000 円	
			表面科学技術研究会2024	100,000 円	
2)	雇用賃金	400,000 円		400,000 円	
3)	旅費交通費	100,000 円		100,000 円	
4)	通信費	10,000 円		10,000 円	
5)	会議・会務運営費	60,000 円		60,000 円	
6)	特定費用準備資金	2,000,000 円	周年記念事業費	2,000,000 円	
7)	予備費	2,547,765 円		2,547,765 円	
	合計	6,677,765 円		6,677,765 円	

関西支部周年記念事業計画 (案)

- 背景 : 2018 年 4 月 1 日
旧日本表面科学会と旧日本真空学会の合併.
日本表面真空学会と関西支部の誕生.
- 周年事業目的 : 関西支部会員に対する年度行事では行えないサービスの提供.
(著名な研究者の招待講演など) 関西支部の活動の対外的なアピール.
- 予定年度 : 10 周年記念事業 (2028 年度実施) から開始. それ以降の会期等については, 関西支部役員会と実行委員会にて随時検討する.

10 周年記念事業計画 (案)

- タイトル (仮) : 日本表面真空学会関西支部 10 周年記念シンポジウム
会期 : 2028 年度内. 期間は決定時の支部長と実行委員会に一任.
- 実行委員会 : 組織化 2026 年度の新役員選出時に別途実行委員会を組織化.
周年記念事業による支部役員への負荷集中を避けるため, 実行委員は,
原則として, 支部役員以外から選任する.
2026 年度 予備検討
2027 年度 2028 年度内開催に向けた具体的準備
- 財源 : 関西支部の特定資産 (必要なら参加費や広告収入も)
当該周年記念事業費のための特定資産として 2023 年度関西支部予算案に
200 万円を計上する. 必要に応じて関西支部年度予算にて積立て.
- 事業規模 : 200~300 万円.
概算 : 例 : 京都テルサ 2 日間 (オーラルシングル+ポスター 80 枚) 170 万円
その他 : 招待講演者旅費, 印刷費, (必要ならハイブリッド費) が必要
総額 200 万円~300 万円を想定.